

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年 5月14日
【会社名】	大正製薬ホールディングス株式会社
【英訳名】	TAISHO PHARMACEUTICAL HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上原 明
【本店の所在の場所】	東京都豊島区高田三丁目24番 1号
【電話番号】	(03) 3985局2020 (大代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 三野 正博
【最寄りの連絡場所】	東京都豊島区高田三丁目24番 1号
【電話番号】	(03) 3985局2020 (大代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 三野 正博
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2番 1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成30年5月14日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は、平成30年5月14日開催の取締役会において、同年7月31日付で、当社が保有する富山化学工業株式会社（以下、富山化学）の株式の全部を富士フィルムホールディングス株式会社に対して売り渡すとともに、富山化学が保有する大正富山医薬品株式会社（以下、大正富山）の株式の全部を買い取り、大正富山を完全子会社化すること（以下、本件取引）を決議いたしました。本件取引に伴い、富山化学は当社の持分法適用関連会社から除外されることとなります。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

連結決算

平成30年度第2四半期の連結決算において、418億円の株式売却益を「特別利益」として計上する見込みです。

単体決算

平成30年度第2四半期の単体決算において、250億円の株式売却益を「特別利益」として計上する見込みです。